

7月も役立つ講座がいろいろ!

シングルマザーの会

◆7月1日(土) 13:30~15:30
場 所: 参画センター 相談室
参加費: 無料

子育ておしゃべりサロン

◆7月13日(木) 10:00~12:00
場 所: 参画センター 学習研修室2
参加費: 無料

摂食障がい家族の会

◆7月15日(土) 13:30~15:30
場 所: 参画センター 相談室
参加費: 無料
* 毎月第3日曜日に開催



知ってる?

男女共同参画のキーワード

LGBT・トランスジェンダー

■LGBTとは?
女性を好きになる女性のレズビアン(L)、男性を好きになる男性のゲイ(G)、両性愛のバイセクシュアル(B)、心と体の性が一致しないなどのトランスジェンダー(T)といった性的少数者の総称。



LGBTという言葉は性の多様性と性のアイデンティティからなる文化を強調するものであり、性的少数者と同一視されることも多いようだが、LGBTの方がより限定的かつ肯定的な概念とされている。

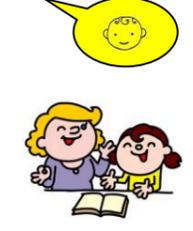
1970年代には主にゲイが法的権利獲得や差別撤廃などを求めて活動し、「プライド」と称されるパレードなどを開催し、次第に4者が合流して全世界に活動が広まったとされる。ブラジル「サンパウロ・ゲイ・プライドパレード」は、世界最大規模のものであり、2009年に推計320万人が参加。日本でも同じように各都市でパレードが開催されている。2013年には、同性結婚を認めた国は約20カ国にのぼり、2014年4月にはインドで「第三の性」(トランスジェンダー)を法的に認める最高裁の判決が出されたことが画期的なできごとである。

また、米国ではLGBTが人口の3.6%と推計する調査もある。かつて同性愛者同士の性行為に刑事罰が加えられるなどがあったが、2003年にマサチューセッツ州の裁判所が



やさしい英語で男女共同参画を学ぶ講座

第3回「制度としての結婚」
◆7月5日(水) 10:00~11:30
講 師: 高松トーストマスターズクラブ
参加費: 無料
場 所: 参画センター学習研修室3
託児: あり(生後6か月~就学前の子ども 1週間前までに予約)



お楽しみ映画会

市婦連主催 **古都**
原作: 川端康成
松雪泰子(一人二役)・橋本愛・成海璃子
★7月17日(月・祝日)
上映 第1回 10:30~
第2回 13:30~
★場所 レクザムホール大ホール
★入場料 1,000円(前売)・当日券は1,500円
★問い合わせ先 小野 090-4787-1425 まで



6月の行事から

6/7 やさしい英語で男女共同参画を学ぶ講座② 就業分野における男女差

参加者数: 11人 場所: 学習研修室3
講師: 高松トーストマスターズクラブ
今回は、「仕事の男女差」について英語で学びました。(参加者の感想)
「クイズは単語が覚えられて楽しかった。グラフを見て男女の雇用実態を知ることができた」「子育てをしていると学ぶ機会がないので、こういう機会はありがたいです」等。



6/15 さんかく交流サロン 四国百名山会の方が語る ~山歩きの楽しさ

参加者数: 23人 場所: 学習研修室1・2
講師: 藤井 博さん(四国百名山副会長)
登山に興味のある方に、登山の楽しさを経験者に語って頂いた。(参加者の感想)
「山を下りるときのひざの負担を少なくする方法が参考になった」「基礎から広範囲の話で、大変山歩きの勉強になった。ぜひ、実践していきたい」等。



6/22 第3回 転勤者とさぬき人のはじめまして講座 みんなで乗ろう! まちなかループバス

参加者数: 29人 場所: ミライエ1階集合
まちなかループバスは、高松の旧市街地をぐるっと回っている。今回、県庁、香川大学、市立図書館を見学するのに利用した。(参加者の感想)
「県庁、香川大学、図書館など近くでも行ったことがなかったので、ゆっくり見られて良かった。ループバスも初めて乗って楽しかった」「バスで普段行けないところへ行けたのが良かった」等。



6/24 こころとからだの健康講座 ストレスケアの処方箋

参加者数: 24人 場所: 学習研修室全体
講師: 児玉令江子(音楽療法士)
最初に音楽の力についての講義を聞き、ワークに入った。今回初めて楽器を使用した講座だったが、幅広い年代の方が参加してくださいました。(参加者の感想)「息を吐く、吸うことの大切さ、右・左脳を使っている療法を知ることができた」「ストレス発散、深呼吸の大切さに気付かされた」等。



トピックス

東京五輪で男女混合種目が増えます!

<東京五輪で女子比率最高 48%>

国際オリンピック委員会(IOC)が重視する男女平等を反映した結果、出場選手に占める女子の比率は過去最高を更新し、5割に迫る見通しであるとの発表があった。男女混合種目が18とリオ五輪から倍増し、若者を意識した種目も積極的に採用したことで、一般にはなじみの薄い新種目も増えて五輪の変貌を強く印象づけた。そして、新種目が昨年のリオ五輪から33種目増の339種目となった。

なかでも柔道の混合団体は、男女3人ずつで実施される。日本勢がリオ五輪で過去最多のメダル12個を獲得した競技だけに大きな期待がかかる。卓球の混合ダブルスは、先の世界選手権で、吉村選手と石川選手のペアが金メダルに輝き注目を浴びた。

IOCは、五輪改革として、男女混合種目の導入や男女の種目数の同数化を推進しており、それが女性比率アップに反映されている。

開催都市の提案を受けて追加種目に決まった野球・ソフトボールや空手など5競技、18種目は別枠扱いとしているが、追加種目を除いた種目数は321となり、女子選手の割合は、48.8%に達する。一方で陸上やレスリングは削減数が増えた。

<20年東京大会 主な種目数、選手数の増減>

競技	種目数	選手数
水泳	+3(競泳の混合400メートルリレーなど)	-40
陸上	+1(混合1600mリレー)	-105
バスケットボール	+2(男女の3人制)	+64
自転車	+4(男女のBMXパークなど)	増減なし
柔道	+1(混合団体)	増減なし
重量挙げ	-1(男子1階級)	-64
レスリング	増減なし	-56

* 参考資料 朝日新聞、四国新聞

* 参考資料 朝日新聞、コトバンク